



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 精工技研

コード番号 6834 URL <https://www.seikoh-giken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 淳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 斎藤 祐司 TEL 047-388-6401

半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月9日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	9,062	15.2	1,030	219.1	1,046	120.8	772	155.9
2024年3月期中間期	7,864	△8.4	322	△54.5	473	△45.5	301	△53.6

（注）包括利益 2025年3月期中間期 1,368百万円（95.3%） 2024年3月期中間期 700百万円（△48.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	84.58	—
2024年3月期中間期	33.08	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	33,327	28,104	84.2
2024年3月期	32,226	27,186	84.3

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 28,068百万円 2024年3月期 27,158百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	14.0	2,000	90.0	2,050	61.5	1,500	97.1	164.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	9,333,654株	2024年3月期	9,333,654株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	175,771株	2024年3月期	210,504株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	9,132,413株	2024年3月期中間期	9,123,150株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2024年11月15日に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(会計方針の変更に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、地域や国により課題を抱えながらも、総じて回復基調で推移しました。米国では中央銀行の利上げに歯止めがかかり、インフレが緩和する中、景気は安定した状況が続いています。欧州ではエネルギー価格が落ち着きを取り戻しつつあり、雇用環境や個人消費が改善に向かう等、景気回復感が徐々に強まることとなりました。中国では国外からの投資が減少して企業収益や不動産市場が冷え込み、経済成長率が鈍化する中、政府は新たな刺激策を導入し内需拡大を図っています。我が国においては、輸出関連企業を中心に製造業の収益環境が回復基調で推移しています。インバウンド需要の増加により非製造業の業況も改善し、景気回復の下支えとなっています。

当社グループが関わる情報通信・エレクトロニクス関連市場では、生成AIや5Gの普及が加速し、データセンターへの投資が活発化しています。市場には生成AIを活用した新しいサービスやアプリケーションが次々とリリースされ、企業の業務効率化や顧客に対する新しい価値の提供に寄与し始めています。自動車関連市場では、中国において電気自動車へのシフトが加速する一方、米国では走行距離への不安から電気自動車の販売が伸び悩んでおり、バッテリー技術の革新や充電インフラの整備が急務となっています。また日本においては、複数の自動車メーカーによる品質不正問題が発覚し、一部の車種の生産ラインが停止しました。これにより消費者の信頼が揺らぎ、自動車メーカーは品質管理の強化を迫られることとなりました。

こうした中で当社グループは、進行中の中期経営計画『マスタープラン2022』に基づき、「顧客接点の活性化」、「新製品・新技術開発の加速」、「ものづくり力の強化」、「経営基盤の強化」の各施策の遂行に努めました。

「顧客接点の活性化」に向けては、精機事業、光製品事業の両セグメントにおいて、展示会への出展や、ホームページの活用等を通じて新しい顧客と出会う機会を数多く作り、商談数を増やすことに注力しました。

「新製品・新技術開発の加速」に向けては、より幅広い領域で社会の進歩発展に貢献できる企業グループとなるべく、引き続き技術力の研鑽に取り組みました。

「ものづくり力の強化」に向けては、顧客が求める品質と納期を満たす製品を安定的に供給できるよう、自動化を含めた生産体制の強化や仕入先、外注先との関係強化に努めました。

「経営基盤の強化」に向けては、「サステナビリティ推進室」が中心となり、温室効果ガスの排出削減活動や、ペーパーレス化の推進、デジタル化による業務効率の向上等に取り組みました。また、かねてより取り組んでいた育児支援に係る活動が評価され、厚生労働省より子育てサポート企業として認定を受け、「くるみん認定」を取得しました。

こうした結果、当中間連結会計期間における売上高は、9,062,766千円（前年同期比15.2%増）となり、中間連結会計期間の売上高としては過去最高となりました。比較的採算性の良い製品の売上高が増加したこと等に伴い、営業利益は1,030,194千円（前年同期比219.1%増）となりました。経常利益は、投資不動産賃貸料等の営業外収益を計上した結果1,046,199千円（前年同期比120.8%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は772,375千円（前年同期比155.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 精機関連

精機関連では、自動車向けや電子機器向けの精密成形品や、成形品を効率的に量産するための高品質な金型、高い寸法精度が要求される金属部品等を顧客に提供しております。当中間連結会計期間は、国内自動車メーカーの中国市場向けの販売が伸び悩む中、電気自動車用のインバーター関連部品の売上高が伸長しました。一方、電子機器向けの金属プレス成形品は、中華系スマートフォンの高機能機種需要が回復せず、売上高が減少することとなりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の精機関連の売上高は4,337,331千円（前年同期比0.8%増）となりました。材料価格の上昇等により原価率が悪化し、営業利益は189,331千円（前年同期比9.5%減）となりました。

#### ② 光製品関連

光製品関連では、光通信用部品や同部品の製造工程、検査工程で使用する機器・装置、光電界センサーや光伝送装置、超小型樹脂レンズ等を顧客に提供しております。当中間連結会計期間は、生成AIの普及や5G通信の拡大等を受けて、世界中でデータセンターの新設が活況となり、光コネクタ等の光通信用部品の需要が増大しました。これにより、光コネクタを製造する際に使用する光コネクタ研磨機や検査・測定装置の売上高が大きく増加することとなりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の光製品関連の売上高は4,725,434千円（前年同期比32.7%増）となり、中間の売上高としては過去最高となりました。光コネクタ研磨機や検査・測定装置の売上高の増加に伴い、営業利益は840,863千円（前年同期比639.4%増）と大きく改善しました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は33,327,355千円となり、前連結会計年度末から1,101,081千円増加いたしました。流動資産は23,808,041千円となり、前連結会計年度末から1,069,599千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したこと等に因ります。固定資産は9,519,313千円となり、前連結会計年度末から31,482千円増加いたしました。その主な要因は、金型等の器具・備品が増加したこと等に因ります。

当中間連結会計期間末の負債合計は5,222,899千円となり、前連結会計年度末から182,711千円増加いたしました。その主な要因は、買掛金や未払法人税等が増加したこと等に因ります。

当中間連結会計期間末の純資産合計は28,104,455千円となり、前連結会計年度末から918,370千円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したこと等に因ります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日に公表いたしました予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「中間連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,079,125	14,578,336
受取手形及び売掛金	4,182,538	4,484,681
電子記録債権	568,521	618,380
商品及び製品	725,143	659,906
仕掛品	1,478,015	1,422,351
原材料及び貯蔵品	1,346,664	1,599,748
未収還付法人税等	70,929	4,552
その他	289,855	442,729
貸倒引当金	△2,352	△2,645
流動資産合計	22,738,442	23,808,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,694,282	7,913,093
減価償却累計額	△5,034,882	△5,226,223
建物及び構築物(純額)	2,659,399	2,686,870
機械装置及び運搬具	7,393,245	7,458,907
減価償却累計額	△5,761,689	△5,913,074
機械装置及び運搬具(純額)	1,631,556	1,545,833
土地	2,670,343	2,670,353
建設仮勘定	45,861	82,508
その他	4,149,184	4,457,421
減価償却累計額	△3,353,652	△3,587,459
その他(純額)	795,532	869,962
有形固定資産合計	7,802,693	7,855,529
無形固定資産		
のれん	67,437	37,013
その他	17,594	14,181
無形固定資産合計	85,032	51,195
投資その他の資産		
投資有価証券	365,422	364,504
投資不動産	868,340	869,881
その他	366,342	378,204
投資その他の資産合計	1,600,105	1,612,589
固定資産合計	9,487,831	9,519,313
資産合計	32,226,273	33,327,355

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,554,403	1,756,547
未払法人税等	215,299	270,112
賞与引当金	114,050	111,011
その他	1,541,863	1,631,101
流動負債合計	3,425,616	3,768,772
固定負債		
退職給付に係る負債	1,053,570	1,036,949
役員株式給付引当金	188,588	155,854
長期末払金	144,870	44,330
長期預り敷金	19,037	19,037
繰延税金負債	64,744	59,595
その他	143,761	138,361
固定負債合計	1,614,571	1,454,126
負債合計	5,040,188	5,222,899
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,791,682	6,791,682
資本剰余金	10,607,500	10,607,629
利益剰余金	8,782,006	9,046,186
自己株式	△538,872	△481,722
株主資本合計	25,642,317	25,963,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,193	26,576
為替換算調整勘定	1,489,946	2,075,246
退職給付に係る調整累計額	△3,006	3,170
その他の包括利益累計額合計	1,516,134	2,104,994
非支配株主持分	27,632	35,685
純資産合計	27,186,085	28,104,455
負債純資産合計	32,226,273	33,327,355

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	7,864,504	9,062,766
売上原価	5,719,504	5,913,264
売上総利益	2,144,999	3,149,501
販売費及び一般管理費	1,822,175	2,119,306
営業利益	322,824	1,030,194
営業外収益		
受取利息	14,351	18,405
受取配当金	717	1,008
補助金収入	7,214	2,876
助成金収入	700	—
投資不動産賃貸料	33,610	34,876
持分法による投資利益	140	129
為替差益	88,209	—
その他	14,637	10,054
営業外収益合計	159,580	67,351
営業外費用		
不動産賃貸原価	7,208	8,064
為替差損	—	42,371
その他	1,455	911
営業外費用合計	8,664	51,347
経常利益	473,740	1,046,199
特別利益		
固定資産売却益	1,899	2,979
投資有価証券売却益	1,747	—
特別利益合計	3,646	2,979
特別損失		
固定資産売却損	34	—
特別損失合計	34	—
税金等調整前中間純利益	477,352	1,049,178
法人税、住民税及び事業税	186,547	275,220
法人税等調整額	△11,667	△5,301
法人税等合計	174,880	269,919
中間純利益	302,472	779,259
非支配株主に帰属する中間純利益	672	6,883
親会社株主に帰属する中間純利益	301,800	772,375



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	302,472	779,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,958	△2,616
為替換算調整勘定	386,822	585,299
退職給付に係る調整額	7,103	6,176
その他の包括利益合計	397,883	588,859
中間包括利益	700,356	1,368,118
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	697,035	1,358,555
非支配株主に係る中間包括利益	3,321	9,563

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	477,352	1,049,178
減価償却費	432,165	441,971
のれん償却額	76,071	37,013
受取利息及び受取配当金	△15,069	△19,414
持分法による投資損益(△は益)	△140	△129
受取賃貸料	△33,610	△34,876
補助金収入	△7,214	△2,876
助成金収入	△700	—
固定資産売却損益(△は益)	△1,864	△2,979
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,747	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,892	△3,039
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	24,651	△5,604
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	23,787	△10,444
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△100,540
為替差損益(△は益)	△38,868	△50,975
売上債権の増減額(△は増加)	△623,031	△213,414
棚卸資産の増減額(△は増加)	310,922	30,486
その他の資産の増減額(△は増加)	44,967	△100,721
仕入債務の増減額(△は減少)	△375,368	119,799
その他の負債の増減額(△は減少)	67,778	△30,154
小計	364,973	1,103,279
利息及び配当金の受取額	8,621	15,923
補助金の受取額	7,214	2,576
助成金の受取額	700	—
法人税等の還付額	4,737	72,123
法人税等の支払額	△322,666	△214,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,580	978,984
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,155,334	△9,050,000
定期預金の払戻による収入	5,387,547	8,846,900
有形固定資産の取得による支出	△251,957	△172,920
有形固定資産の売却による収入	2,302	3,038
無形固定資産の取得による支出	△970	△3,551
投資有価証券の取得による支出	△267,642	△480
投資有価証券の売却による収入	1,747	—
投資不動産の賃貸による収入	33,610	34,876
その他	57	△410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,250,638	△342,549

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△21,143	△24,808
自己株式の取得による支出	—	△335
自己株式の売却による収入	—	30,483
配当金の支払額	△461,167	△508,099
非支配株主への配当金の支払額	△5,539	△1,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△487,850	△504,270
現金及び現金同等物に係る換算差額	120,358	137,554
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,554,550	269,719
現金及び現金同等物の期首残高	5,193,698	5,065,708
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,639,148	5,335,428

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,304,211	3,560,292	7,864,504
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,455	—	22,455
計	4,326,667	3,560,292	7,886,959
セグメント利益	209,108	113,715	322,824

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,337,331	4,725,434	9,062,766
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,773	207	12,981
計	4,350,104	4,725,642	9,075,747
セグメント利益	189,331	840,863	1,030,194

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (取得による企業結合)

当社は、2024年10月2日開催の取締役会において、株式会社エムジエーの全株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2024年10月25日付で全株式を取得しました。

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社エムジエー

事業の内容：自動車部品、文具、医療部品等の製造・販売

## ② 企業結合を行った主な理由

当社が株式会社エムジエーの株式を取得し連結子会社化することで、当社はより幅広い射出成形技術と自動成形技術を獲得し、成形品供給ビジネスの拡大を実現することが可能になります。さらに、株式会社エムジエーの成形品を当社グループが国内外に有するネットワークを活用して拡販することも可能です。両社が有する技術や顧客基盤、人材等の経営資源を有効に活用することで、より幅広い産業領域に向けて製品やサービスを展開し、当社グループの更なる成長を実現してまいりたいと考えております。

## ③ 企業結合日

2024年10月25日

## ④ 企業結合の法的形式

株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

株式会社エムジエー

## ⑥ 取得した議決権比率

100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

## (2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

株式取得の相手先との守秘義務に基づき非開示とさせていただきます。

## (3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 10,210千円

## (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

## (5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。